はがの文芸

短歌

子を叱る声に混じりて子の笑う
声もひびけり公園の昼
藤澤　久夫（稲毛田）

この町に住みてこの町知らずいる
秋風が繰る芳賀百年史
柳　慶（与能）

陽よけにと育てしゴーヤ稔りたり
朝の食事の副ひ物とする
丸山　芳江（祖母井）

大き屋根の重さに耐えて五十年
今日健やかに生きる喜び
渡邊　カツ（西高橋）

俳句

老夫婦丹誠込めて菊作り
赤羽　敬司（芳志戸）

釣竿の垂るる水面の冬めける
稲見　満子（与能）

凩やひらりひとひら子が被る
河上　洋子（祖母井）

秋風にゆれる注連や地鎮祭
大畑ハマ子（下延生）

川柳

話し声小さくなって気にかかり
小林　正孝（祖母井）

結局は蕎麦屋になった誕生日
山本美枝子（稲毛田）

肌寒く野に咲く花に話しかけ
七井　章治（与能）

懐かしむ会話昭和を引き寄せる
野沢　静子（下延生）

サークルなどで活躍されている皆さんの作品をご紹介します。

あなたの声を聞かせてね！
お便り待ってます！

●町のシンボル　ケヤキ

匿名さん

秋も深まった10月上旬、ある町の施設に植栽されていたケヤキが突然伐採されました。伐採した理由が「ご近所に落ち葉で迷惑がかかる」だとしたら、町がもっと関係者に積極的に理解を求めるべきではなかったでしょうか。

ケヤキのある風景は実にいいものですが、一般家庭では育てることは難しいのです。一定の広さが確保されている公共施設で、芳賀町のシンボルとして大きく育てて欲しいと思いますがいかがでしょうか。

▲直のママさん（祖母井）

あなたの声をきかせてね! コーナー投稿募集

あなたの声をお聞かせください。身近な出来事や町に関する要望・意見など何でも結構です。投稿いただいた中から広報はがへ掲載させていただきます。その際の添削については、ご了承ください。

イラストも募集しています。広報はがのカットとして掲載させていただきますので、濃くはっきりとお書きください。

のりしろ